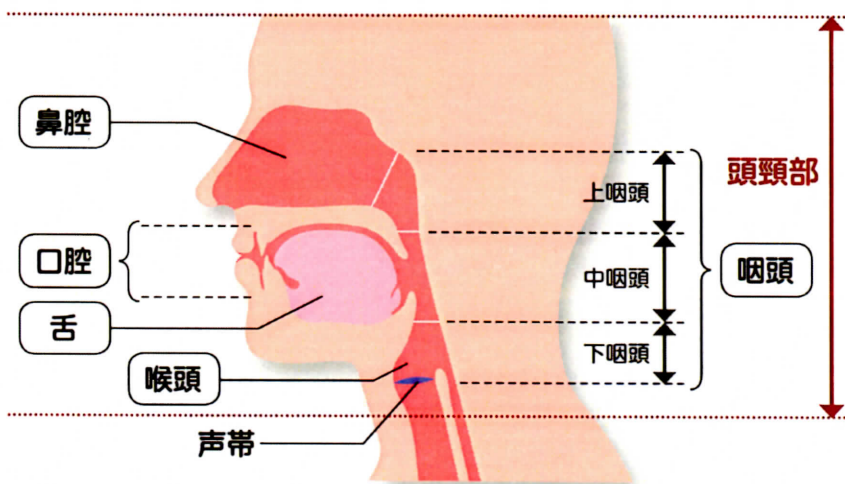


# のど内視鏡検査を受けられる方へ

## のど内視鏡検査とは

のど内視鏡検査は、頭頸部「鼻腔・口腔・舌・喉頭（こうとう）・咽頭（いんとう）」をよく観察します。のどのつかえ感、違和感は「逆流性食道炎」によるもの、また、「頭頸部がん」は多くはありませんが、喫煙や飲酒との関わりが大きいことで知られています。

通常の上部内視鏡検査（胃カメラ）よりも「のど」をより詳しく診るため、鎮静剤は使わず鼻から入れる細い内視鏡カメラで行います。



## 検査までの準備

順番が近づきましたら鼻から薬を入れ、「鼻」と「のど」の麻酔を行います。  
10分程度の時間がかかります。

## 検査中の流れ

はじめに口から内視鏡カメラを入れ、口腔内、舌を診ます。医師の声かけで口を大きく開ける、舌を丸めて上に持ち上げる、舌を左右にゆっくりふる、舌を前に突き出し、口を大きく開け「エー」と声を出すなどして頂きます。次に鼻から内視鏡カメラを入れ、のどを診ます。医師の声かけで口を大きく開けて舌を出す（アカンバーをする）そのまま「エー」と声を出す、頭を下げ（お辞儀をする姿勢）顎を突き出す、大きく息を吸って頬を膨らませる（アッププをする）などして頂きます。詳しく診させていただくためにご協力をお願いいたします。

その後に食道、胃、十二指腸を診ます。検査時間は10～15分程度です。  
ご不明な点がございましたら遠慮なく看護師へお尋ねください。